

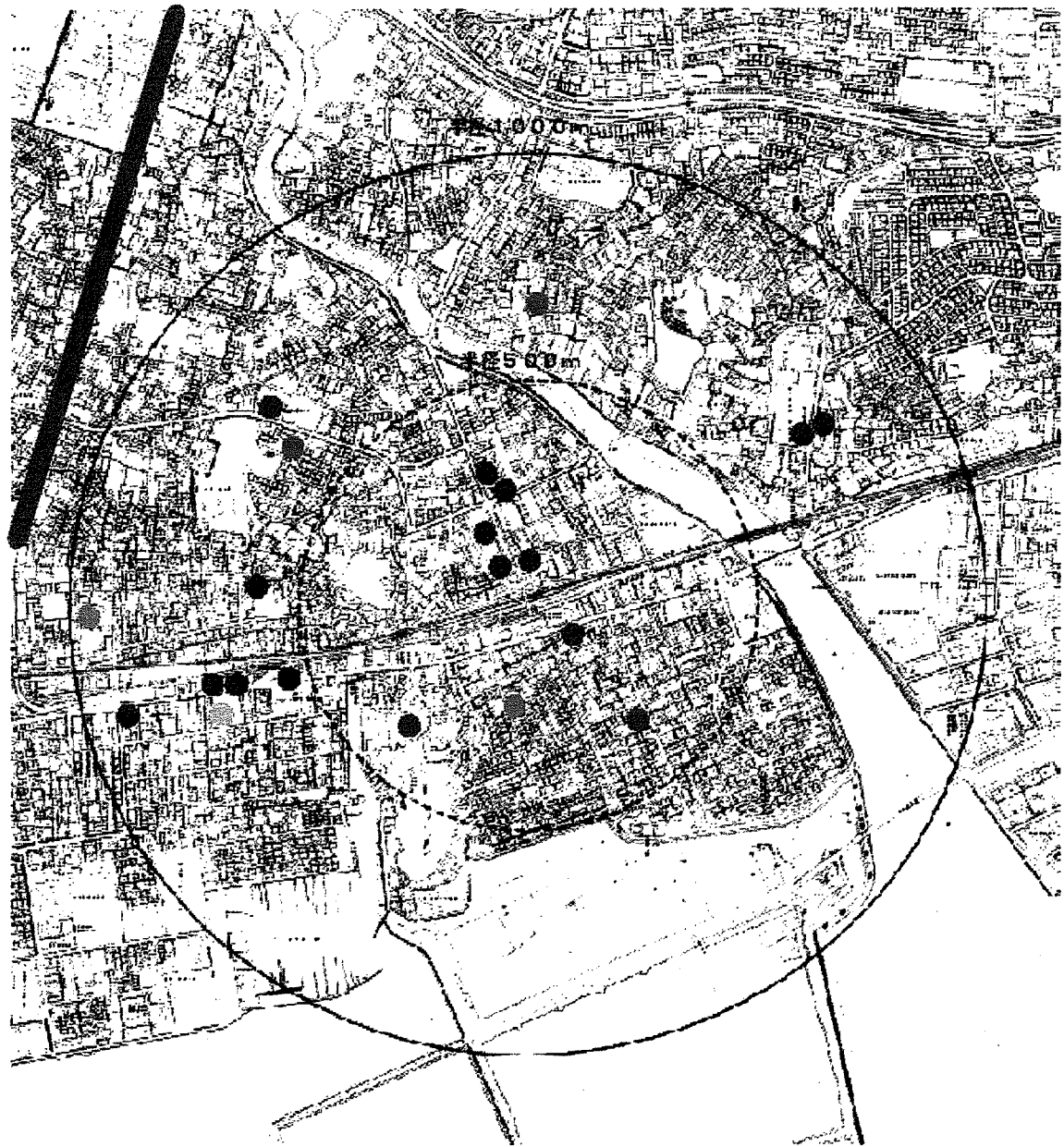
3. JR五日市駅周辺地区の現況

(1) 地域特性

JR五日市駅は、本市西部に位置する佐伯区の南部にあり、JR山陽本線だけでなく広島電鉄宮島線や路線バス等を結ぶ交通結節点となっており、周辺には、佐伯区役所などの公共施設や、コイン通り、大型小売店舗である福屋などの商業施設、五日市公民館、海老山公園などの教育文化施設、老人いこいの家五日市荘などの社会福祉施設及び医療施設等も分布しています。

このため、JR五日市駅は、駅北側の住宅地からだけでなく、本市および本市西部の周辺市町からの利用も多く、これらの地区を相互に連絡する役割を果たしています。

JR五日市駅周辺施設分布図



●: 官公庁施設 ●: 社会福祉施設 ●: 医療施設 ●: 教育文化施設等 ●: 商業施設等

(2) 交通結節点としての役割

JR五日市駅は、東西方向にJR山陽本線と広島電鉄宮島線が伸びています。また、北口駅前広場には、駅北側の住宅地への路線バスの発着地であり、南口は都心方面への路線バスの経由地となっているなど、市域内における主要な交通結節点のひとつとなっています。

(3) 利用状況

JR五日市駅は、1日当たりの乗降客数が約2万4千人と、広島市域内のJR駅ではJR広島駅、JR横川駅に次ぐ利用がある旅客施設です。

周辺地区には、佐伯区役所などの公共施設、大規模小売店舗である福屋などの商業施設、五日市公民館、海老山公園などの教育文化施設、老人いこいの家五日市荘などの社会福祉施設及び医療施設等が存在するなど、健常者だけでなく、高齢者や身体障害者の方々が多く利用されており、バリアフリー化の必要性が高い地域です。

また、JR五日市駅は、広電五日市駅と隣接しており、本市都心や本市西部の周辺市町を連絡する重要な交通結節点として、すべての人にやさしい施設として機能強化及びバリアフリー化が望まれています。

(4) 駅施設及び周辺地区のバリアフリー化の現況

JR五日市駅は、橋上化された南北自由通路に改札口があり、そこから1階に相当するホームへ降りる構造となっており、視覚障害者誘導用ブロック、身体障害者対応トイレが既に設置されていますが、ホームへの昇降設備については、上り、下りホームとも階段のみで、エレベーター、エスカレーターが設置されていません。このため、車椅子での移動については、駅員等の介助により階段を使用するか、上りホームであれば、駅員を呼び出して車椅子用の出入口を使用しているのが現状です。

広電五日市駅については、下りホームは南口駅前広場とつながっていますが、上りホームは、南北自由通路から階段で降りる構造となっています。このため、上りホームへは、駅西側の踏切を横断するなど迂回して利用しているのが現状です。またホームには視覚障害者誘導用ブロックも設置されていません。

南北自由通路については、視覚障害者誘導用ブロックが設置され、階段、上り専用エスカレーター、スロープが南口広場、北口広場にありますが、エレベーターは宮島街道を横断した南端に設置されているのみとなっています。

このように、特に昇降設備について設備の改善、充実など、今後さらなるバリアフリー化が望まれています。

駅周辺の状況を見ると、駅前広場内には視覚障害者誘導用ブロックが設置されているものの、周辺道路については幅員の狭い歩道が多いなど、改善が必要となっています。

さらに、歩道上の立て看板や違法駐輪・駐車などのバリアも存在し、円滑な移動の妨げとなっています。